

令和7年度事業報告

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

項 目	事 業 内 容
1 事業方針	犯罪等により被害を受けた被害者やその家族及び遺族に対し、支援活動員による被害者支援活動を行うとともに、県民に対する広報啓発活動を推進し、被害者支援の必要性や重要性を呼び掛け、社会全体の被害者支援意識高揚を図り、被害者支援の輪を広げる。
2 事業内容	にいがた被害者支援センターは、上記方針に基づき、関係機関、団体等と連携を図りながら以下の活動を行った。また新潟県から性暴力被害者支援センターにいがた（以下「ワンストップ支援センター」という。）の業務委託を受け、その業務の推進を行った。 (1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業…《公1事業》 (2) 犯罪被害者等への直接支援事業……………《 〃 》 (3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業……………《 〃 》 (4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業 ……《 〃 》 (5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業……………《公2事業》 (6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業……………《公3事業》
3 各事業別計画実施状況	
事業内容	実績、場所等
(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業	毎週月～金曜日 10:00～16:00(祝日を除く。) ※ワンストップは、令和3年10月か ら365日24時間対応とし、当セ ンターは祝日を除く毎週月～ 金曜日9:00～17:00で対応して いる。 新潟ユニゾンプラザ[※]ハート館
ア 電話相談	支援活動員2名体制による無料電話相談を実 施するとともに、必要に応じて関係機関、団体 の紹介を行った。 相談件数615件 別紙のとおり (前年度508件) 前年比+107件 転送電話件数 長岡～23件 上越～8 件
1613件 (+355件)	ワンストップ支援センター電話相談を平成28 年12月1日に開設し、女性支援活動員が2名体 制による無料電話相談を実施した。 相談件数998件 別紙のとおり (前年度750件) 前年比+248件 内 夜間・休日165件
イ 面接相談	電話相談等で面接相談が必要と判断した被 害者等に対し、面接相談を実施して相談を受け るとともに、被害者に最適な専門的援助方策や 解決策を共に考えるなどのサポートを行った。 原則2名体制で対応 相談件数23件 別紙のとおり (前年度28件)
56件 (－10件)	ワンストップ支援センター 別紙のとおり 相談件数33件 (前年度38件)
ウ メールに よる相談	平成29年12月25日からメールによる相談を 開設した。令和6年7月11日ホームページ に性暴力被害相談フォームを追加した。 相談人員・件数43人・64件 (前年人員・件数31人・72件) 性被害27人・41件、ストーカー5人・6件、殺人・傷害5人・ 10件、詐欺4人・5件その他2人・2件
(2) 犯罪被害者等への直接支援事業	
面接相談等で支援が必要と判断した被害者等に対し、裁判 所、弁護士事務所等への付添い、及び必要により臨床心理 士によるカウンセリング、産婦人科医診察等の直接的な支援 を行った。	支援件数119件 別紙のとおり (前年度 139件) 裁判関連34件 弁護士相談30件、病院付添・心理相談 10件(前年度 裁判関連33件 弁護士相談34件、病院 付添・心理相談13件) 県警からの情報提供受理件数14件(前年度17件)
	ワンストップ支援センター 支援件数142件 別紙のとおり (前年度 99件) 裁判関連0件 弁護士相談 22件、病院付添い・心理相 談58件 産婦人科診療 2人2 件
(3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業	5月11日、6月8日、 9月7日、10月19日、 12月7日、3月15日 (13:30～15:30) 新潟ユニゾンプラザ[※]
同じような辛い体験をした被害者同士が互いの体験を語り、 感情を分かち合う自助グループの支援を行った。	参加人員34名 内訳別紙のとおり (前年度 25名、+9名) 本年度は、6月8日にアロマテラピー教室を開催し自助グ ループの交流を図った。

(4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業 申請者の負担軽減のため、複雑な犯罪被害者等給付金申請手続きを補助。	支援件数 0件 (前年度 0件)
(5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業	
ア 広報紙を発行し、支援センターの活動内容等を県民に周知広報するとともに社会全体に被害者支援の輪を広げる活動を推進した。 ・広報紙「支援センターだより」 年2回発行	・9月 No.38 6,000部発行 ・2月 No.39 6,000部発行
イ リーフレット等の広報資料の作成・配布及び各種イベント、公共交通機関、県内各市の広報紙等を利用した広報媒体等により、支援センターの相談窓口や活動内容等について広報啓発活動を行った。 ・各種イベント時における広報活動 ・県内各市町村広報紙を利用した広報	・にいがた被害者支援センターリーフレット5,000部作成 ・性暴力被害者支援センターにいがたリーフレット作成せず ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン等における広報活動2回実施 ・新潟市発行広報誌等
ウ ・県内小学生、特別支援学校児童全員に性暴力被害者支援カードを作成配布し広報に努めた。(小学校低学年用、小学校高学年用計2種類のカード作成) ・令和7年度、中学生・高校生の年代対象にSNS (LINE) で性暴力防止広報を実施した。	・性暴力被害者支援カード 小学生(低学年・高学年)向け2種類 合計120,000枚 作成・配布した。 中学生、高校生の年代は令和8年3月上旬～4月上旬の春休み期間中にLINE配信で性暴力防止啓発広報を実施した。
エ 広報効果充実に意図して当センターホームページをリニューアルした。令和7年11月からテストを開始し12月11日に完成、供用を開始した。	・センターへ相談したきっかけでは、令和7年度、判明分 306件中89件がホームページ(性暴力62件、その他27件)からとなっている。
オ SNS(X、line、Yahoo! プラントパネル)を活用した広報を推進しホームページの閲覧につなげた。	・にいがた被害者支援センターの周知 (Yahoo1回、LINE1回) ・性暴力被害者支援センターにいがたの周知 (Yahoo1回、LINE1回) ・中高生の年代を対象に性暴力防止広報を実施 (LINE配信1回)
カ ・バス車内放送を活用した広報に努めた。 ・電車出入口脇に広報ポスターを掲示し広報に努めた。	新潟交通 上所、水島町線 JR東日本県内各路線
キ 内閣府設定「犯罪被害者週間」に県民の被害者支援意識高揚のため、「犯罪被害者週間新潟大会」を開催した。 「犯罪被害者支援フォーラム2025inにいがた」の共同開催 主催：県、県警、当センター 開催日 11月22日(土) パネル展示及び被害者遺族手記集、機関紙、リーフレット等配布	・被害者支援フォーラム 会場：新潟ユニゾンプラザ多目的ホール 講演：「想いと願い」 講師：京都アニメーション放火殺人事件被害者ご遺族 渡邊達子氏(被害者母) 渡邊勇氏(被害者兄) 警察音楽隊ミニコンサート、作文朗読(録音再生) 参加人員 300名 ・新潟県犯罪被害者支援条例に基づき11月を被害者支援を考える月間と定め同月間中に県内市町村において縦断パネル展実施 (新潟市、三条市、柏崎市、十日町市、南魚沼市) ・犯罪被害者等支援功労知事表彰 個人表彰：元にいがた被害者支援センター理事大島照美子氏 団体表彰：新潟県民共済生活協同組合
ク 関係機関団体と連携し、当センターの活動内容等をパネル展示を実施し広報に努めた。	・パープルライトアップ作戦 新潟県女性財団主催の女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ協力団体として11月12日から同月25日までの間ユニゾンプラザにおいてパープルライトアップしたパネル展実施
ケ マスメディアを利用してセンターの広報に努めた。	・被害者支援センター 新潟日報広告掲載 2回 ・ワンストップ支援センター 新潟日報広告掲載2回 ・新潟日報お正月版広報掲載1回 ・NHKラジオ 年間ランダムに広報

(6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業		
ア 被害者支援に関わる分野の講師を招いて、継続研修及び直接支援研修を実施し、支援活動員の質的向上を図った。	・継続研修 毎月1回 年11回実施 延べ233人受講 ・直接支援研修 5回実施 延104人受講	新潟ユニゾンプラザ*
イ ・全国水準の支援活動を行える支援活動員を育成するため、全国被害者支援ネットワーク主催の各種研修会に参加した。	・10月17日～10月19日 全国フォーラム4人・秋期全国研修会3人参加 ・7月12、13日 質の向上研修上半期研修会 当センター7人参加 当センターが当番県として実施 ・12月13、14日質の向上研修下半期研修 当センター3人参加 当センターが当番県として実施	
4 その他		
(1) 他機関等との連携等		
ア 全国ネットワーク、他県センターとの連携	・4月15日 全国事務局長会議 ・9月26日 関東甲信越ブロック事務局長会議 当センターが当番県として実施	
イ 県弁護士会、被害者支援室、法テラス意見交換会開催	・令和8年2月3日	新潟ユニゾンプラザ
ウ 県臨床心理士会との意見交換会の開催	・令和8年3月14日	新潟ユニゾンプラザ
エ 県産婦人科医会との連携	・性犯罪被害者の医療機関受診2人延べ2回 ・協力医療機関リストを協力医療機関及び各種広報活動時に配布し連携に努めた。	
オ 新潟県被害者支援連絡協議会	・10月30日 定期総会～理事長、事務局長参加 (11月20日、性犯罪専門部会 事務局長参加)	
カ 新潟県配偶者暴力防止連絡協議会	・2月1日 事務局長参加	
キ 新潟県困難な問題を抱える女性への支援計画策定委員会	・12月17日 事務局長参加	
ク 県警察職員研修講演	・10月31日被害者支援専科教養	
ケ ・犯罪被害者等支援関係講演	・5月17日 新潟市産婦人科医会学術講演 ・5月30日 県警被害者支援専科 ・7月9日 保護司指導力研修会講師 ・8月27、9月2日 県内市町村担当者会議講師 ・9月17日 にいがたパイロットクラブ研修会 ・9月25日 長岡市犯罪被害者等支援実務者研修会 ・12月2日 長岡ライオンズクラブ定例会 ・1月23日 新潟中央地区保護司会関係官庁協議会 ・2月13日 妙高地区被害者支援連絡協議会 ・2月16日 新潟市犯罪被害者支援に係る町内研修会 ・2月17日 新発田警察署被害者支援連絡協議会 ・2月25日 小千谷・川口地区被害者支援連絡協議会 ・3月8日 新潟県公認心理士会諸団体交流研修会	
コ 市町村犯罪被害者等支援条例制定に向けた取り組み	・県、県警、当センターの共同による市町村特化条例担当者への研修(長岡、新潟会場)実施	
サ 犯罪被害者等支援功労知事表彰	・11月22日、犯罪被害者支援フォーラム2025inにいがた会場において、個人は大島煦美子氏、団体は新潟県民共済生活協同組合がそれぞれ知事表彰を受賞した。	

(2) 管理運営等	
ア 会員及び賛助会員の状況	・3月末現在正会員数 7年度個人58人 団体7団体(前年度個人61人、団体7団体) ・3月末賛助会員数 7年度 個人307人 団体136 (個人144人・警察163人、団体19・警察117) 6年度 個人626人 団体208 (個人297人・警察329人、団体82・警察126)
イ 被害者支援自動販売機設置状況及び寄付受入状況	・受取寄付金額16,507,326円(前年比+1,879,641円) ・うち寄付金付自動販売機寄付 8,732,075円(前年比-424,882円) 3月末現在設置台数166台 前年度167台 民間68台、県警66台、行政等32台 ・うち主な多額寄付5,573,472円
ウ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる寄付	・5月13日受領 寄付金総額 43,200円 従来年2回贈呈が今年度から年1回贈呈に変更された
エ ホンデリングによる寄付	・14件(前年比-7件) 寄付金額 37,825円(前年比-28,668円)
オ 社員総会、理事会	・4月25日 第1回定時理事会 令和6年度事業報告、決算報告 総会に付議する事項 ・5月30日 第1回定時社員総会 令和6年度決算報告 役員選任 ・10月24日 第2回定時理事会 職執行状況報告 ・3月19日 第1回臨時理事会 令和8年度事業計画、予算
カ 五役会議(その都度)	・理事長、専務理事、中曽根理事、支援局長、事務局 長 による運営等検討会 4月22日、5月22日、10月16日、2月26日、3月31日

令和7年度事業報告 付属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」施行規則第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

令和7年度(4月～3月)支援活動実績表

公益社団法人にいがた被害者支援センター

1 電話・面接相談活動

区 分	電話相談件数						面接相談件数					
	被害者支援センター			ワンストップ支援センター			被害者支援センター			ワンストップ支援センター		
	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減
殺人・殺人未遂	61	102	-41	0	0	0	3	7	-4	0	0	0
暴行・傷害	130	73	57	0	0	0	4	5	-1	0	0	0
窃盗・強盗	8	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性被害	194	131	63	860	625	235	3	10	-7	32	38	-6
交通事故	161	134	27	0	0	0	13	4	9	0	0	0
ストーカー	7	5	2	3	0	3	0	0	0	1	0	1
DV	2	6	-4	9	2	7	0	0	0	0	0	0
虐待	0	3	-3	0	1	-1	0	0	0	0	0	0
いじめ	1	2	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
振込め詐欺	0	1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他詐欺	3	5	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近隣トラブル	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金銭トラブル	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多重債務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	28	38	-10	99	111	-12	0	2	-2	0	0	0
問合わせ等	13	1	12	27	11	16	0	0	0	0	0	0
計	615	508	107	998	750	248	23	28	-5	33	38	-5

2 直接支援活動

区 分	直接支援件数						直接支援人員累計					
	被害者支援センター			ワンストップ支援センター			被害者支援センター			ワンストップ支援センター		
	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減
殺人・殺人未遂	18	30	-12	0	0	0	11	15	-4	0	0	0
暴行・傷害	30	11	19	0	0	0	17	7	10	0	0	0
性被害	41	62	-21	142	99	43	26	31	-5	83	63	20
交通事故	30	33	-3	0	0	0	20	29	-9	0	0	0
その他	0	3	-3	0	0	0	0	1	-1	0	0	0
計	119	139	-20	142	99	43	74	83	-9	83	63	20

3 自助グループ支援活動

区 分	7年度	6年度	増減	備考
5 月	2	4	-2	交通事故被害者遺族
6 月	14	6	8	アロマテラピー
9 月	4	8	-4	交通事故被害者遺族
10 月	2	0	2	交通事故被害者遺族
11 月	2	5	-3	交通事故被害者遺族
3 月	10	2	8	交通事故被害者遺族
計	34	25	9	